

教 育 委 員 会 定 例 会

1 開 会

2 報 告

報告第 9 号 教育委員会 8 月定例会の会議録について

3 議 案

議案第 4 5 号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の作成について

議案第 4 6 号 専決処分について（令和 5 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について）

4 その他

- (1) 令和 5 年第 3 回市議会定例会について
- (2) 令和 6 年度日立市立幼稚園等の園児募集について

5 次回の教育委員会の日程について

令和 5 年 1 0 月 2 6 日（木） 午後 1 時 3 0 分から
日立市役所 3 0 4 ・ 3 0 5 号会議室

6 閉 会

教育委員会 8 月定例会の会議録について

教育委員会 8 月定例会の会議録について、別紙のとおり報告するものとする。

令和 5 年 9 月 2 8 日 提出

日 立 市 教 育 委 員 会
教 育 長 折 笠 修 平

教育委員会会議録（8月定例会）

日 時

令和5年8月31日（木）
午後2時30分から午後3時10分まで

場 所

日立市役所 304・305号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	小野 智久

委員以外の出席者

教育部長	宮内 雅弘
理事	窪田 康德
総務課長	片山 晃
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	芳賀 友博
学務課課長	酒地 康彦
学校再編課長	渡邊 鏡子
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課長	玉置 伸一
指導課長	多田 賢一
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	横山 宏栄
総務課庶務係長	塙 智光
総務課主事	佐藤 友香

議 事

報 告

報告第 8 号 教育委員会 7 月定例会の会議録について

議 案

議案第 4 0 号 令和 5 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について

議案第 4 1 号 物品の買入れについて

議案第 4 2 号 日立市立学校設置条例の一部を改正することについて

議案第 4 3 号 日立市立図書館協議会委員の任命について

議案第 4 4 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

その他

- (1) 桐生市・日立市子ども会交流事業の実施結果について
- (2) ラジオ体操普及事業の実施状況について
- (3) 日立市二十歳の祝いの実施について
- (4) 小学校プール活用事業の実施結果について
- (5) 図書館情報システム移行に伴う図書館の休館について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 8 月定例会を開会します。

 本日は、傍聴希望者が 3 名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

2 報 告

報 告 第 8 号 教育委員会 7 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 8 号について、御意見等はありませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 4 0 号 令和 5 年度教育委員会 9 月補正予算の提案について

教 育 長 続いて、議事に移ります。
議案第 4 0 号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 令和 5 年度教育委員会 9 月補正予算について、提案するもので
す。

 9 月補正予算額です。今回の補正予算は、歳出のみとなります。
8 3 8 万 1 千円を増額し、補正後の額を 7 9 億 9, 2 3 7 万 7 千
円とするものです。

 次に、補正内容について、御説明いたします。

 No 1、事業名等、市税等過誤納還付金、8 3 8 万 1 千円を増額
です。

 国からの交付金である「子ども・子育て支援交付金」について、
令和 4 年度の放課後児童クラブ分の精算に伴う超過交付金の返還
に要する経費です。交付金については、1 億 5 2 3 万 7 千円の交付
を受けておりましたが、令和 4 年度分の確定額が 9, 6 8 5 万 6 千
円となり、差額を返還するものです。

教 育 長 それでは、議案第40号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第40号については、原案可決と決しました。

議 案 第 4 1 号 物品の買入れについて

教 育 長 次に、議案第41号について、学校施設課長から説明をお願いします。

学校施設課長 買入れの予定価格が2,000万円以上になりますことから、条例の規定により議会の議決に付すべき契約であるため、提案するものでございます。

物品の名称及び数量につきましては、電子黒板、書画カメラ、スピーカーフォン、USBカメラを348セット買入れ、買入れ予定価格は、1億6,659万円余りでございます。

買入れの相手方は、エイチ・シー・ネットワークス株式会社茨城支店で、納入の期限は、本年11月30日、買入れの方法につきましては、指名競争入札でございます。

委 員 リースではなく、買入れとのことですが、メンテナンス等の関係でもリースの方が便利な感じがしていました。買入れとする理由について教えていただきたいです。

学校施設課長 まず、電子黒板の整備につきましては、デジタル田園都市国家構想交付金の対象事業として採択されたものでございまして、交付金を活用して整備するものです。交付金の対象となる計画期間は3年でございますが、こちらの交付金は、事業の立ち上げに係る初年度、1年分の費用が対象経費となることから、リース1年分の費用と比較しまして、物品の買入れを選択したものでございます。

委 員 アフターサービス等も少し心配ですが、何かあった場合には、大丈夫だということによろしいでしょうか。

また、11月納入ということで、できれば、今年度中に少しでも学校で扱えるようになればと思います。是非、よろしく願いしたいと思います。

学校施設課長 メンテナンスについては、実際には5年を想定しておりますので、交付金対象期間の3年分については、交付金対象事業として導

入し、2年分については、単費ということで導入しております。

また、納入は11月末を予定しておりまして、議会の議決が9月29日の予定になりますので、その後、納入時期について検討していきたいと考えております。また、東小沢小学校はなるべく先に入れないと、機器の活用期間が少し短くなってしまおうと考えておりますので、それを含めまして、納入時期等を調整してまいりたいと考えております。

委員 今、こういった機器類の部品の生産が間に合わないということもよく聞くので、納期限11月末を守っていただくよう、よろしくお願ひしたいと思っております。

教育長 それでは、議案第41号について、可決することによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議案第41号については、原案可決と決しました。

議案第42号 日立市立学校設置条例の一部を改正することについて

教育長 次に、議案第42号について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 小学校及び中学校の統合に伴い、日立市立学校設置条例の一部を改めるものでございます。

日立市立学校再編計画に基づき、坂本小学校及び東小沢小学校、楡形小学校及び山部小学校、平沢中学校及び駒王中学校を統合するため、本条例の別表を改めるものです。

まず、坂本小学校と東小沢小学校の統合についてです。

統合後の名称を坂本東小学校とし、位置を現在の坂本小学校の所在地とするものであります。

続きまして、楡形小学校と山部小学校の統合についてです。

統合後の名称を十王小学校とし、位置は現在の楡形小学校の所在地とするものであります。

最後に、平沢中学校と駒王中学校の統合についてです。

統合後の名称を駒王中学校とし、位置を現在の駒王中学校の所在地とするものであります。

なお、施行期日については、坂本小学校及び東小沢小学校の統合が令和6年4月1日、平沢中学校と駒王中学校の統合が令和7年4月1日、楡形小学校と山部小学校の統合が令和8年4月1日となります。

教 育 長 それでは、議案第42号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第42号については、原案可決と決しました。

議 案 第 4 3 号 日立市立図書館協議会委員の任命について

教 育 長 次に、議案第43号について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 日立市立図書館協議会委員の任期が、令和5年8月31日をもって満了となりますので、新たに委員を任命するものであります。
任期は、令和5年9月1日から令和7年8月31日までです。
1人の方が新任です。
奥山克子氏は、子育て支援サポーターであり、家庭教育関係者の区分で任命するものでございます。

教 育 長 それでは、議案第43号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第43号については、原案可決と決しました。

議 案 第 4 4 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

教 育 長 次に、議案第44号について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 日立市視聴覚センター運営委員会委員の任期が、令和5年8月31日をもって満了となりますので、新たに委員を委嘱するものであります。
任期は、令和5年9月1日から令和7年8月31日までです。
なお、委員は、全員継続です。

教 育 長 それでは、議案第44号について、可決することによろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第44号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) 桐生市・日立市子ども会交流事業の実施結果について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 第66回桐生市臨海子ども会につきましては、4年ぶりの開催となりました。

期間は、7月22日土曜日から24日月曜日まで、1泊2日の2団編成で開催されました。

河原子海水浴場に、合計282人の桐生市の子どもたちや育成会会員が滞在し、日立の海を満喫していただきました。

また、日立市一斉ラジオ体操の日である7月23日日曜日には、河原子小学校児童、河原子中学校生徒や河原子学区地域住民と一緒にラジオ体操を実施いたしました。

次に、第51回桐生市・日立市子ども会リーダー交歓研修会につきましては、こちらも4年ぶりの開催となりまして、

期日は、8月5日土曜日から6日日曜日までの1泊2日で、本市からは、子ども会リーダーや中学生リーダー、子ども会育成連合会役員など、合計34人が参加をいたしました。

主な交流の内容といたしましては、桐生市子ども会育成団体連絡協議会の御協力の下、八木節踊りの練習をいたしまして、桐生八木節まつり「子ども大会」に参加いたしました。

(2) ラジオ体操普及事業の実施状況について

教 育 長 次に、その他(2)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 まず、日立市一斉ラジオ体操の日についてでございます。

ラジオ体操には、健康づくりや生活リズムづくりなどのほか、地域の皆さんが取り組むことによって、コミュニケーションの場になるなど、様々な効果が期待され、継続した取組としていくため、毎年、夏休み最初の日曜日を日立市一斉ラジオ体操の日といたしました。

今年度は、7月23日日曜日に実施いたしまして、学区コミュニ

ティ、子ども会やラジオ体操実施団体等の御協力で、市内27か所、合計1,778人の市民の参加がございました。

続きまして、ラジオ体操指導者講習会についてです。

こちらの事業は、今年度の新規事業でございまして、一般財団法人簡易保険加入者協会が、講師の派遣に関わる費用を負担し、NHKテレビ・ラジオ体操指導者を派遣する事業を活用し、ラジオ体操の指導者及び指導者資格を取得しようとする方のための講習会を開催いたしました。

派遣講師は、NHKテレビ・ラジオ体操指導者の岡本美佳氏と、同アシスタントの舘野伶奈氏に御指導いただきまして、8月2日水曜日、池の川さくらアリーナサブアリーナを会場といたしまして、市内小・中学校及び高等学校の教職員、学区コミュニティ及び事業所の代表者など、合計67人の参加がございました。

今後も、より多くの皆様に御参加いただき、更なる普及促進につながるよう取組を進めてまいります。

(3) 日立市二十歳の祝いの実施について

教 育 長 次に、その他(3)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 趣旨は、二十歳という人生の節目を祝うとともに、人生を切り開いていく青年たちを励ます機会とする記念式典を実施するもので、実施日は、令和6年1月7日の日曜日でございます。

会場は、日立市池の川さくらアリーナ、対象者は、約1,900人を予定しております。

実施方法といたしましては、会場及び周辺道路の混雑緩和などを図ることに加え、このところ再燃しております新型コロナウイルス感染拡大防止対策の観点から、令和4年度と同様に2部制で実施するものでございます。

当日の出席見込者数は、例年の出席率から、おおむね約7割程度の1,400人程度を見込んでおります。

式典の実施体制につきましては、今年度20歳を迎える方で、出身校からの推薦や公募による44人で構成される日立市二十歳の祝い実行委員会が、記念式典等の企画立案及び運営等を行うものでございます。

記念式典後に記念撮影を行う予定でございしますが、当日のアトラクションなど、事業の詳細につきましては、9月から開催される実行委員会にて企画検討を行いますので、内容が決まり次第、改めて御説明をいたします。

委員 2部制での実施ということですが、新型コロナウイルス感染症が5類になったので、できれば1部で一度にやった方が効率的な気がします。

今後、2部制ではなく、一度に実施する方向があるのかどうか、また、そういった場合、基準等がありましたら、教えていただければと思います。

生涯学習課長 令和元年度までは、記念式典を1部制で実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止となりまして、令和3年度、令和4年度と、感染拡大防止のために、2部制での実施をしておりました。このところ、新型コロナウイルス感染症がまた拡大しているということもございますが、それだけではなく、実際に2年間、2部制で実施しまして、周辺道路や会場内の混雑が緩和され、雰囲気や秩序などが保たれて、祝いの場にふさわしい環境となっていると感じたところがございますので、今年度につきましては、2部制での実施といたします。

今後、また1部制に戻すかどうかということにつきましては、開催の状況などを考えながら、二十歳の祝われる方々にとって適切な環境をとれるよう検討してまいりたいと考えております。

(4) 小学校プール活用事業の実施結果について

教育長 次に、その他(4)について、スポーツ振興課長から説明をお願いします。

スポーツ振興課長 小学校プール活用事業につきましては、夏休み期間を利用した学校プールの開放事業を総合型地域スポーツクラブと共催で実施しまして、小学生が水に親しむ機会の提供と泳力・体力の向上を図ることを目的に実施しております。

実施校につきましては、例年どおり、塙山小学校、大沼小学校、滑川小学校です。

参加者数につきましては、今年度は1,143人で、実施日数は、各校それぞれでございますが、おおむね昨年と同様の日数で開催をいたしました。

中止日ですが、今年は非常に暑いということで、熱中症予防運動指針により、水温と気温を足して65度以上となった場合は中止という基本的な方針がございますので、中止又は一部実施となった日があります。

委員 以前は、子ども会において、指導者を付けてプール開放を行っていたと思うのですが、現状はどのようになっているのかをお聞かせ

いただければと思います。

地域との連携として、こういった事業を地域の方々に手伝っていただくのが良いのではないかと思ったもので、現状をお伺いできればと思います。よろしくお願いします。

生涯学習課長 現在、夏休みのプール開放を子ども会単会で催しているという情報はつかんでいないところです。

ただ、学校のおやじの会や地域の方などがプール開放を行っている事例というのは、いくつかお聞きしている状況でございます。

(5) 図書館情報システム移行に伴う図書館の休館について

教 育 長 次に、その他(5)について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 現行の図書館情報システムを新しいシステムへ移行することに伴いまして、令和5年12月25日月曜日から翌年1月8日月曜日までの15日間を休館とするものでございます。

そのうち、12月28日から翌年1月4日までの8日間につきましては、市の条例に定められた年末年始休館日でございます。その前後7日間を臨時休館日とするものでございます。

このことについては、市報11月20日号を始め、市のホームページ、ケーブルテレビ、その他SNSなどを使いまして、より利用者へ周知をしたいと考えております。

なお、休館中も電子書籍の利用は可能ですので、積極的な活用をPRしたいと考えております。

システム移行目的につきましては、現行のシステム管理業者がシステム事業から撤退するため、契約期間の満了に伴いまして、新しいシステムへ移行するものでございます。長年にわたって蓄積したデータの移行や、同様の操作性の継続が可能である現在のもものと類似したシステムを導入いたします。また、新たな機能を追加することで、利用者等の利便性を図ります。

新システムの主な内容でございますが、図書館情報の総合管理につきましては、従来からの引き続きの点が主な部分になりまして、貸出返却処理や図書の検索、利用者情報管理などをつかさどる部分となっております。

新しい機能としまして、図書館専用ホームページの運用によりまして、より親しみやすいホームページを目指すとともに、新着本や人気書籍のランキングの表示、子ども用のホームページの新設を行うということで、検討をしているところでございます。

また、入館者数のカウント機能の追加ということで、システム上

でリアルタイムの管理ができるものになる予定です。

最後に、利用開始については、令和6年1月9日からとなる予定です。

(6) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

スポーツ振興課長 (口頭説明)

明秀学園日立高等学校サッカー部がインターハイで優勝いたしました。

昨日、1,200人の御参加の下、優勝報告会が実施されました。茨城県内で44年ぶり、水戸商業高校以来の大変名誉な優勝を果たしたということで、御報告をさせていただきます。

郷土博物館長 特別展示「日立鉾山に生きた人々」について御説明いたします。初めに、今回の展示の趣旨でございます。

本市発展の原点となりました日立鉾山につきましては、昭和56年に閉山を迎えましたが、鉾山で働き、生活した方々の閉山から現在までを撮影しました記録写真を展示し、本市の歴史・文化への理解を深め、郷土への誇りを高める契機とするものでございます。

続いて、展示の概要、日程等でございます。

会期は、9月23日土曜日から11月5日日曜日まででございます。

なお、期間中、9月、10月とも、月末の月曜日は休館となります。

展示の内容につきましては、本市大みか町出身で、現在もプロのカメラマンとして御活躍の中井川俊洋氏が、日立鉾山の閉山前後から現在まで40年の長きにわたり、鉾山に生きる人々について撮影記録した写真を展示いたします。展示の数は、現在調整中ではございますが、おおよそ100点を超えるものと予定しております。

ギャラリートーク、中井川氏御本人による展示作品の解説につきましては、会期の初日、9月23日の午後2時から、同会場内で開催いたします。事前の申込みは不要で、当日の御来館でどなたでも御参加いただけます。

なお、観覧はギャラリートークを含め、全て無料でございます。

最後に、中井川氏につきましては、1960年に日立市に生まれ、大学の卒業制作のため、鉾山の撮影を始め、その後、自身のライフワークとして撮影を続けておりました。現在は、東京にお住まいになり、報道写真家、記録写真家として、大手週刊誌等の活動を続け

ております。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和5年9月28日（木）午後1時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会8月定例会を終了いたします。

以 上

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点
検及び評価の結果に関する報告書の作成について

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
の結果に関する報告書について、別冊のとおり作成するものとする。

令和5年9月28日提出

日 立 市 教 育 委 員 会
教 育 長 折 笠 修 平

(提案説明)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を作成するものであります。

令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、日立市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検及び評価し、教育行政の課題や取組の方向性を明らかにし効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的とする。

2 対象

令和4年度に、教育委員会が管理及び執行した事務を点検及び評価の対象とした。

3 実施方法

(1) 内部評価

日立市教育振興基本計画の特徴である「未来を拓くプロジェクト」及び「ひたちらしさを活かした取組」を8つの施策として位置付けて、施策の取組内容、課題及び今後の方向をまとめた施策評価調書を作成した。

(2) 外部評価

施策評価調書の各施策等について、教育行政点検評価委員の評価及び意見を得た。

4 教育行政点検評価委員（順不同、敬称略）

氏名	所属等
星 秀 男	元学校長
小野瀬 静香	日立市社会教育委員
福地 秀太郎	日立市立小・中学校PTA連合会長

5 今後の取組

点検評価委員からの意見を基に今後の事業へのフィードバックを行い、今後の施策の検討を進めて、将来を担う人材を育成するとともに、豊かな文化を育む教育行政の推進に努める。

6 点検及び評価の概要 別紙のとおり

7 報告書 別冊のとおり

以 上

令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の概要（対象年度：令和4年度）

1 各施策に対する内部評価及び外部評価

未来を拓くプロジェクト		
施策名	取組の内容	評価【内部評価：取組の成果、外部評価：点検評価委員からの意見（各抜粋）】
① 確かな学力の育成	ア 確かな学力の育成 イ 学習指導要領による授業の実践 ウ 情報活用能力の育成 エ 英語教育の充実	内部評価 ・学級全体で考え、議論するための発問の工夫と振り返りができる「構造的な板書」の工夫を重ねたことで、児童生徒が主体的に道徳の授業に参加し、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育成することができた。 ・小学校に勤務する若手教員2名をハワイ・パシフィック大学の研修プログラムに派遣させることにより、英語の指導力向上を図るとともに、英語の指導技術を普及させることができた。
		外部評価 ・道徳でのICT活用は、子どもたちの道徳性を養うために新たな教育機器の活用という視点で、授業の在り方を模索していることに期待したい。一方、道徳の授業は、教師の的確な発問、応答、気配りや賞賛など、人と人のコミュニケーションの中で、人間性豊かな子どもを育てる道徳の在り方ということも大切にしてほしい。 ・英語を用いてコミュニケーションが必要不可欠になってくる中、英検を用いた英語学習熟度だけではなく、外国語指導助手の活用法(会話の充実)として伝わるという楽しさも学べると苦手意識も少しは軽減されるのではないかと。
② 教育環境の向上	ア 学校施設の整備 イ 通学路安全対策の推進 ウ 学校・家庭・地域との連携により子どもたちを育てる取組の推進 エ 学習環境の整備・充実 オ 教職員の働き方改革	内部評価 ・教育の当事者としての学校、保護者、地域の役割が明確化し、教育活動・学校運営に携わる意識が高まった。 ・休日の部活動の地域移行については、「部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会」を設置し、十王中学校において、総合型地域スポーツクラブを受け皿として試行を開始した。
		外部評価 ・学校・地域・家庭との連携に協議や研修会を行い、理解を深められたことは成果が出たことと思う。小さなことからでいいので、多くの方を巻き込む前向きな施策を継続してほしい。現代に合わせた本来の意味でのPTAの模索を更に進められるよう、支援いただきたい。 ・休日の部活動の地域移行について、行政・学校・地域の連携はこれまででも実践してきたが、そこに「教員の働き方改革」という視点が入ることで、より多面的な検討が必要になる。これからの部活動が保護者の負担増、学校地域間の格差などを踏まえた議論となるよう希望したい。
③ 放課後や休日の活動環境の充実	ア 放課後児童対策の推進 イ 子どもの地域活動への参加推進	内部評価 ・6校に新規教室を開設し、計19校で教室を実施し、さらに実施日についても、新たに長期休業期間まで拡大したことで、子どもたちが様々な体験等を行う機会を拡充することができた。 ・土曜日や夏休みを利用し、地域の団体の協力を得て、子どもたちに様々な活動機会を提供することができた。
		外部評価 ・放課後子ども教室が19校で実施され、子どもたちが様々な体験等を行う機会の拡充を果たせたことは大変喜ばしいことである。一方、この拡充と学校再編の展望については、きめ細かいプランニングを期待したい。 ・放課後子ども教室と地域との連携を図り、さらにひたち大好きパスポート利用増加を目的として、市内公共施設への参加促進のためのイベント企画など、関係機関との連携強化に努めてはどうか。
④ 文化財の活用	ア 文化財の保存と活用の推進 イ 郷土博物館の魅力づくり	内部評価 ・文化財回廊コースの設定（ふるさと文化少年団活動で試行）、文化財回廊コースウォーキングの実施（国民宿舎鶴の岬フィールドワーク、子ども地学教室フィールドワーク、日立製作所OB行事）、「日立市文化財回廊ガイドマップ～日立オリジンパーク周辺～」の発行などを行った。 ・特別展示「竹内彰の陶芸」において、市内を拠点に活躍した陶芸家の優れた作品を鑑賞する機会を設けることができた（観覧者数 1,506人）。
		外部評価 ・魅力ある郷土博物館の運営や、本市固有の文化財の活用等に向けた取組に期待したい。その際に、入場者数等の数値目標だけでなく施設利用の満足度・充実度といった視点を大事にしてほしい。 ・コロナの影響下にあって、ふるさと文化少年団のような地域に根差した団体が、長い歴史をもって活動してきたこと心から敬意を表したい。
⑤ スポーツの振興	ア 市民運動公園、スポーツ広場等施設整備の推進 イ さくらロードレースの魅力向上に向けた検討 ウ スポーツ合宿の誘致推進 エ スポーツに関する情報の提供	内部評価 ・全面人工芝生のグラウンドとして会瀬スポーツ広場を整備したことで、ラグビーを始めとしたスポーツの振興とまちの活性化を図ることができた（令和5年7月供用開始）。 ・選抜高等学校野球大会（明秀日立）や都市対抗野球大会（日立製作所野球部）等の全国大会出場について、報道機関への情報提供を行ったほか、応援懸垂幕を掲示する等、市民のスポーツに対する関心を高めることができた。
		外部評価 ・これからの本市は、部活動の地域移行や学校再編計画を踏まえて、地域バランスに配慮しながら必要な施設整備を図っていくことが要求される。今後はより一層地域の声に耳を傾けながら取り組む必要がある。 ・施設整備（市民運動公園、野球場、会瀬スポーツ広場）が進む中、子どもたちのモチベーション向上や新たなスポーツに対する興味・関心を持つために、県内外に広報を広げてスポーツイベントを計画していただきたい。

「ひたちらしさ」を活かした取組		
施策名	取組の内容	評価【内部評価：取組の成果、外部評価：点検評価委員からの意見（各抜粋）】
⑥未来を拓く力を育む学校教育	ア 本市独自の取組による未来を拓く人づくりの推進 イ 自己肯定感・自己有用感を高める取組 ウ 教育環境の充実 エ 保護者の教育費負担軽減に関する取組 オ 学校給食の充実	内部評価 ・日本語を話せない児童生徒の在籍校に通訳ボランティアを派遣し、児童生徒が円滑に学習や学校生活ができるよう支援を行うことができた。 ・新小学生、新中学生及び市外から転入した児童生徒にランドセル及びスクールカバンを贈呈し、保護者の経済的負担を軽減することができた。
		外部評価 ・教育環境の充実として、特別に配慮が必要な子どもたちへの支援だけではなく、外国人児童生徒に対応する支援もますます必要となっていくことだと思うが、日立で育つ子どもたちには皆平等な支援をお願いしたい。 ・ランドセルは引き続き贈呈いただくことが良いと思っている。色については、多様性の文化を取り入れる観点なども含めて、意思形成をお願いしたい。
⑦生きがいや喜びを見出す生涯学習	ア キャリア教育の推進 イ ラジオ体操の普及推進 ウ 生涯学習機会の提供 エ 読書環境の整備・充実	内部評価 ・キャリア教育の一つとして、子どもたちが将来への夢を持ち、自立していくことを目的に活動する職業探検少年団の運営を支援することができた。 ・読書活動の推進施設として、読書環境の整備、読書に親しむ機会の充実及び関係機関との連携により、子ども読書活動の啓発・推進を図った。
		外部評価 ・職業探検少年団活動は興味のある親子だけの参加になってしまいがちであり、ひたちらしい職業を残していくためにも地域の持続的な向上のためにも職業探検少年団の指導者側が学校に出向いたりすることについて、検討してほしい。 ・読書環境の充実に感謝する。ブックスタートパックの制度は引き続き続けていただきたい。また、図書館の利用カードの入学時配布も続けていただきたい。
⑧健康と活力を生み出すスポーツ	ア 池の川さくらアリーナの活用推進 イ 地域と連携したスポーツへの多様な参加機会の充実 ウ スポーツクラブ・団体の育成	内部評価 ・競技団体や指定管理者等と連携を図り、市民に国内トップレベルのスポーツ等を観覧する機会を提供するとともに交流人口の拡大を図ることができた。 ・日立市スポーツ協会と連携しながら、スポーツ少年団の普及及び育成を推進するための活動を支援したことにより、スポーツ少年団の活動の促進につなげることができた。
		外部評価 ・代表的スポーツを池の川アリーナで実施できることは、プロを身近で感じられる大変貴重なイベントであるので、引き続き試合誘致の機会創出の継続・拡大をお願いしたい。 ・スポーツ少年団等の活動促進については、児童生徒の減少も踏まえて学校の部活動改革と緊密な連携を図りながら進めてほしい。

2 報告書全体に対する意見

星 秀男 委員 <元学校長>

- ① 市内の小中学校の授業を参観する機会があった。小学校では電子黒板に映し出された課題、図形、質問などを子どもたちが真剣な眼差しで見つめ、教師の淀みない発問が続く大変活気にあふれた授業であった。中学校の授業では、全ての生徒が机上でタブレットを操作して効率よく授業が進んでいった。指導計画の中では「自力解決・ペア学習」等という、コミュニケーションを大切にした集団活動が組まれていた。これから ICT がどのように活用されていくか楽しみである。
- ② 世の中はアフターコロナに向けて動き出した。このような子どもたちを取り巻く状況の変化は、同時に教育関係者の柔軟な発想や強い実行力が必要とされる。特に、新たな視点で見つめ強い気持ちで実践していく姿勢は、ますます大事になると思う。授業参観で訪れた中学校の校長先生の、「『働き方改革』と言いますが、私は先生たちの『働きがい改革』と考えて取り組んでいきます。」という言葉と決意あふれる表情が印象的であった。

小野瀬 静香 委員 <日立市社会教育委員>

- ① 教育環境の向上という点から、さらに今後の学校再編も踏まえ、学校・地域・家庭との連携がますます必要となっていくと考える。特に学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の育成及び支援が重要で、この機会に地域と学校が一体となって連携していくことが大事であり、私どもも協力していくべきではないかと考える。
- ② 新型コロナウイルス感染症が続いている中でも、これだけの教育に関わる事業を様々な方向から柔軟にやって頂いていることに感謝している。このような時代でも将来を担う人材である子どもたち、特に日立市で育つ子どもたちには、生活・教育格差がなくなっていくように願わずにはいられない。

福地 秀太郎 委員 <日立市立小・中学校PTA連合会長>

- ① グローバル化が急速に進む中で英語教育、ICT スキルの習得は必須となっていると感じている。本市は教員の語学研修や、学校・生徒への ICT 機器の設置等、非常に積極的に行動しているという印象がある。学校だけでなく異文化と接する機会を増やし、楽しみながら文化の違いを理解する場を提供していただきたい。
- ② 子どもたちに、日立市の魅力を感じ、体験し、郷土愛を育むために、職業探検少年団・カンブリア紀の地層の PR、大煙突を含めた日立市の歴史、人財である理科室のおじさんを一層活用していただきたい。
要望として、教員が子どもたちに向き合う時間を多く作れるように、業務の効率化、人員の補助を早急をお願いしたい。

専決処分について（令和5年度教育委員会9月補正予算の
提案について）

令和5年度教育委員会9月補正予算の提案について、特に緊急を要するため教育委員会を開催する時間的余裕がないことが明らかであったので、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定に基づき別紙のとおり専決処分したため、同条第2項の規定に基づきこれを報告し、承認を求めるものとする。

令和5年9月28日提出

日立市教育委員会
教育長 折笠修平

専 決 処 分 書

教育長に対する事務委任規則（昭和31年教委規則第2号）第3条第1項の規定に基づき特に緊急を要するため教育委員会を開催する時間的余裕がないことが明らかであると認め、別紙のとおり専決処分する。

令和5年9月27日

日 立 市 教 育 委 員 会
教 育 長 折 笠 修 平

令和5年度教育委員会9月補正予算額(専決)

1 歳入歳出予算

(単位 千円)

	款	項	補正前	補正額	補正後
歳入	14 使用料及び手数料	1 使用料	59,485	0	59,485
	15 国庫支出金		869,184	50,666	919,850
		1 国庫負担金	63,464	50,666	114,130
		2 国庫補助金	805,720	0	805,720
	16 県支出金		189,142	0	189,142
		2 県補助金	186,879	0	186,879
		3 委託金	2,263	0	2,263
	17 財産収入	1 財産運用収入	27	0	27
	18 寄附金	1 寄附金	0	0	
	19 繰入金	1 基金繰入金	9,998	0	9,998
	21 諸収入	4 雑収入	90,606	0	90,606
	22 市債	1 市債	696,600	135,800	832,400
		合計		1,915,042	186,466
歳出	2 総務費	1 総務管理費	14,985	0	14,985
	3 民生費	3 児童福祉費	407,666	0	407,666
	10 教育費	1 教育総務費	1,200,089	0	1,200,089
		2 小学校費	1,060,687	0	1,060,687
		3 中学校費	742,063	0	742,063
		4 幼稚園費	-	-	-
		5 社会教育費	1,006,935	0	1,006,935
		6 保健体育費	3,559,952	0	3,559,952
	13 災害復旧費	1 災害対策費	0	3,262	3,262
		7 教育施設災害復旧費	0	186,856	186,856
	合計		7,992,377	190,118	8,182,495

2 地方債補正(追加)

(単位 千円)

起債の目的	補正前限度額	補正後限度額
小学校災害復旧事業債	0	54,200
中学校災害復旧事業債	0	9,800
社会体育施設災害復旧事業債	0	71,800

令和5年度 教育委員会 9月補正予算（専決）の内訳について

1 歳入歳出予算

(単位 千円)

No.	担当課	目	事業名等	補正額	補正内容
災害復旧費					
1	学務課	教育関連災害対策費	緊急通学対策経費	3,262	台風13号の影響により、通学に利用していた県道が通行止めとなったことに伴う、通学に係る費用の増額 ・中里小中学校スクールバスの代替運行に係る使用料 ・高原地区の十王中生徒のタクシー送迎に係る使用料
2	学校施設課	小学校復旧施設費	小学校災害復旧事業費	95,581	台風13号の影響により被災した小学校の土地及び工作物の復旧工事に伴う費用の増額 ・災害復旧詳細設計業務委託（河原子、水木、山部） ・地質調査業務委託（水木、山部） ・擁壁復旧工事（河原子） ・法面復旧工事（水木、山部）
3		【関連歳入】		41,166	国庫負担金 公立学校施設災害復旧費負担金
4		【関連歳入】		54,200	市債 小学校災害復旧事業債
5		設中旧学費災害校復施	中学校災害復旧事業費	19,422	台風13号の影響により被災した中学校の土地の復旧工事費用の増額 ・災害復旧詳細設計業務委託（平沢） ・法面復旧工事（平沢）
6		【関連歳入】		9,500	国庫負担金 公立学校施設災害復旧費負担金
7		【関連歳入】		9,800	市債 中学校災害復旧事業債
8		スポーツ振興課	保健体育施設災害復旧費	社会体育施設災害復旧事業費	71,853
9	【関連歳入】		71,800	市債 社会体育施設災害復旧事業債	
歳入合計				186,466	
歳出合計				190,118	

2 地方債補正(追加)

(単位 千円)

No.	担当課	起債の目的	補正前	補正後	増減
1	学校施設課	小学校災害復旧事業費	0	54,200	54,200
2	学校施設課	中学校災害復旧事業費	0	9,800	9,800
3	スポーツ振興課	社会体育施設災害復旧事業費	0	71,800	71,800

(1) 令和5年第3回市議会定例会について

1 会期（台風13号による被害への対応を図るため、日程変更となった。）

【変更後】令和5年9月7日（木）から9月14日（木）まで【8日間】

【変更前】令和5年9月7日（木）から9月29日（金）まで【23日間】

2 一般質問等について

台風13号による被害への対応を図るため、一般質問及び議案質疑は、行わないこととなった。

3 教育福祉委員会

<議案>

- (1) 議案第56号 令和5年度日立市一般会計補正予算（第3号）の所管部分
歳出 第2款 総務費の所管部分
- (2) 議案第62号 日立市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- (3) 議案第68号 物品の買入れについて

<報告>

- (1) 報告第9号 令和4年度日立市一般会計継続費精算についての所管部分
- (2) 報告第11号 令和4年度日立市基金運用状況についての所管部分
令和4年度日立市奨学金貸付基金

<請願等>

- (1) 今回付託されたもの（1件）
 - ・ 受理番号5 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府
予算に係る意見書採択を求める請願

以 上

(2) 令和6年度日立市立幼稚園等の園児募集について

1 日立市立幼稚園・認定こども園（1号認定）在園児数及び募集人数

園名	在園児数(R 5. 9. 1 現在)			募集人数	
	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児
櫛形幼	7	13	20	30	若干名
大沼幼	13	9	22	30	若干名
みやた(認)	6	10	16	14	若干名
はなやま(認)	13	8	21	14	若干名

※ 田尻幼稚園は、募集を行いません。

2 入園資格

日立市内に居住する4、5歳児（令和6年4月1日までに住民となる幼児を含む。）

- (1) 4歳児 平成31年4月2日から令和2年4月1日までに生まれた幼児
- (2) 5歳児 平成30年4月2日から平成31年4月1日までに生まれた幼児

3 募集方法

(1) 入園願書

申込みに必要な願書等を、10月3日（火）から、市立の各幼稚園及び認定こども園で配布します。

(2) 願書受付

ア 受付期日 11月1日（水）及び2日（木）

イ 受付場所 入園を希望する市立幼稚園又は認定こども園

(3) 募集案内

10月5日号市報及び市ホームページに掲載します。

4 月額保育料

令和元年10月1日からの幼児教育・保育の無償化に伴い、保育料は無料です。

5 参考（教育・保育を利用するための認定区分）

1号認定： 幼稚園や認定こども園の教育を利用（満3～5歳児）

2号認定： 保育所や認定こども園の保育を利用（満3～5歳児）

3号認定： 保育所、認定こども園等の保育を利用（0～2歳児）

以 上

第23回 青少年のための

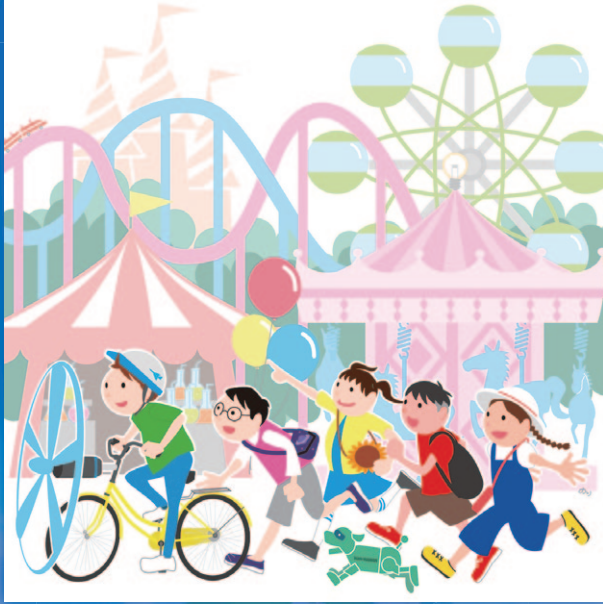
科学の祭典

日立
大会



わくわく
好きなきががクが必ず見つかる

学生レーシングカー



イラスト/のり



祭典の空へ
ハヤブサ!
～フライト実演～



トイドローン

日時

令和5年10月29日(日)
午前9時30分～午後3時30分

場所

日立シビックセンター
マーブルホール/新都市広場/
ギャラリー/科学館

内容

不思議体験!
自由に遊べる実験・工作!

入場無料

【主催】 青少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会

【共催】 (公財)日本科学技術振興財団/(公財)日立市民科学文化財団

【協賛】 株式会社赤羽根/石川クリニック/石川内科ファミリークリニック/株式会社岩手製作所/エムビー・サービス日本株式会社
おおたしろクリニック/小川医院/かもめ動物病院/グルコピア日立/個別スクール好学舎/株式会社サクセス関/柴原皮膚科
島田外科医院/JX金属株式会社日立事業所/常陽電機工業株式会社/助川電気工業株式会社/株式会社関プレス/大成印刷株式会社
大日本図書株式会社/株式会社ティー・エム・ピー/有限会社戸祭電気商会/中山商事株式会社/株式会社日立機械/日立厚生医院
日立港病院/日立桜ライオンズクラブ/日立総合防災株式会社/日立デザイン株式会社/株式会社ヒロエンタープライズ/まさひろ歯科
株式会社三友製作所 団地工場/株式会社ゆなご教材舎

【後援】 文部科学省/全国科学館連携協議会/全国科学博物館協議会/NHK/日本物理教育学会/(一社)日本生物教育学会/日本地学教育学会/日本基礎化学教育学会
(一社)日本科学教育学会/(一社)日本理科教育学会/(一社)日本地質学会/(一社)日本生物物理学会/一般社団法人日本物理学会/(公社)応用物理学会
公益社団法人日本化学会/(一社)日本機械学会/(公社)日本アイントープ協会/(一財)日本私学教育研究所/(公社)日本植物学会/(公社)日本動物学会
(公社)日本天文学会/(公社)日本工学会/(一社)電気学会/日本エネルギー環境教育学会/茨城県教育委員会/国立大学法人茨城大学/茨城県高等学校教育研究会理化部
茨城県高等学校教育研究会生物部/茨城県高等学校教育研究会地学部/茨城県教育研究会理科教育研究部/日立市/日立市教育委員会/日立商工会議所/㈱日立製作所
㈱茨城放送/㈱茨城新聞社/㈱JWAY/日立市立小・中学校PTA連合会/(一社)茨城県子ども会育成連合会

【助成】 鈴縫工業(株)「おひさまの恵みプロジェクト」/(公財)東京応化科学技術振興財団/

National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう



☆ わくわく どきどき カガク体験! ☆

ひたちkidsプログラミングコンテスト2023 ～最終審査プレゼンテーション～

- ・場所 日立シビックセンター1階ギャラリー(見学自由)
- ・時間 13:00～14:10
- ・内容 プログラミング部門(小学生)・マイクロビット部門(小中学生)の最終審査のためのプレゼンテーション(各5名)

SDGsカルタ

【SDGsカルタ:茨城県立竹園高校】(各回20分程度)

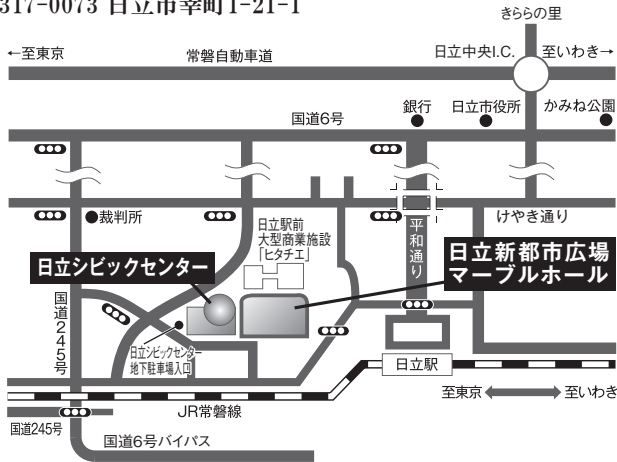
- ・時間 ①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～ ⑤15:00～
- ・場所 シビックセンター1階 アトリウム
- ・対象 年長以上 ・定員 20人/回

【環境カルタでSDGsを学ぼう】(各回30分程度)

- ・時間 ①10:30～ ②11:30～ ③13:30～ ④14:30～
- ・場所 マーブルホール
- ・対象 小学校中学年以上 ・定員 8人/回

会場

日立シビックセンターマーブルホール ほか
〒317-0073 日立市幸町1-21-1



アクセス

- JR常磐線日立駅(中央口)下車徒歩3分
- 常磐自動車道日立中央ICから8分
- ※日立シビックセンター地下駐車場
(最初の2時間無料 以後60分200円、24時間最大500円)

お問い合わせ

青少年のための科学の祭典・日立大会実行委員会事務局
(日立市教育委員会生涯学習課)

TEL 0294-22-3111(代) FAX 0294-22-0465
E-Mail saiten.hitachi@gmail.com
HP <http://saiten-hitachi.sakura.ne.jp/>

- ※会場内には、各所に手指消毒用のアルコール消毒液を設置します。
- ※この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。
撮影した写真等は、広報用HPや刊行物等に掲載することがあります。

猛禽ふれあい

ハヤブサのデモフライト、猛禽類を手のにせてみよう!

【デモフライト】

- ・場所 新都市広場
- ・時間 ①10:30～ ②12:45～ ③13:45～ (各回15分程度)

【腕のせ】

- ・場所 マーブルホール
- ・時間 上記の時間以外

実験・工作 50のすごい体験

【工作をして持ち帰ろう】

- ブービー笛をつくろう / 回り続けるコマをつくろう
- 万華鏡をつくってみよう / 楽しいクリスマスをつくろう
- がりがりトンぼをつくろう / 空気を使ったおもちゃをつくろう!
- バランス人形をつくろう! / カラフルかるめ焼きをつくろう
- 厚紙ブーメランをつくろう! / かさ袋ロケットをつくろう!
- ソフトランチをつくってとぼそう / パラシュートをつくって遊ぼう!
- クリップモーターをつくってみよう / 磁石と電気は仲良し?!
- 竹とんぼづくりと とぼし名人にチャレンジ / ヒンメリをつくろう
- シャカシャカ振って光るポケットシェイカーをつくろう
- こっちを見てくる!?ふしぎなワイヤークラフト体験
- 紫外線ビーズでプレスレットやストラップをつくろう

【実験や観察をしよう】

- 猛禽ふれあい / サクリエに行こう!
- トイドローン体験会 / 飛べスーパーボールロケット
- 液体タワーをつくろう / 空気・水のふしぎ
- LEDで何が出来る? / インクと水で紙に花を咲かせよう
- ウミユリ化石を観察しよう / 世界中の化石を観察しよう
- 科学マジックを体験しよう / モールス信号で遊ぼう
- 津波防災まちづくりの実験 / テトラミノで遊ぼう
- 人工ダイヤモンドで氷を切ろう! / 銅コインピカピカ実験!
- 水が材料!?魔法の電池のお話 / 科学の楽しさ一日体験
- 小さな宝箱をつくろう～宝石や貝殻などが見つかるかな?～
- 光る石ころってな～!?不思議な世界を体験しよう!!
- 学生がつくったレーシングカー!「IUR19」の展示と走行
- 科学はお風呂を進化させる! 楽しいバスボムづくり
- 遠足大好きエンソ君(17)と最短ルートを探そう
- 親子できれいな曲線を作る 一だ円とは何か
- みがいてきらめく! おたからコーパル☆
- きみは割れないシャボン玉をつくれるか?
- 電圧、電流、そして抵抗とはなんだろう?
- 霧箱で色々な自然放射線を見てみよう

【環境を考えよう】

- 環境カルタでSDGsを学ぼう / SDGsカルタ
- 見て・触って・体感! 南極観測

【科学館・天球劇場 無料クーポン】

QRコードを読み込んで入館無料クーポンをGETしよう!

〈科学館開館時間〉9:00～17:00 (最終入館16:30)

※天球劇場の上映番組と時間は、HP参照

〈有効日〉10月29日(日)当日のみ

〈問合せ〉0294-24-7731(9:00～17:00)





薬膳料理家 宮澤孝子さん講演会

母が紡ぐ和の薬膳

～郷土料理は次世代へ繋ぐ宝物～

読書週間（10/27～11/9）にあわせて、薬膳料理家・宮澤孝子さんをお招きし、生い立ち、世界料理本大賞で2位を受賞した著書について、思い出の郷土料理や薬膳料理について、子どもたちに伝えたいことなどをお話しいたします。薬膳料理の世界を楽しんでみませんか。関連料理本・薬膳料理の写真・世界料理本大賞賞状の展示も予定しています。



- ◆日時 令和5年10月29日（日） 午後2時～午後3時30分
- ◆場所 日立市立多賀図書館 4階 大ホール
(住所 〒316-0006 日立市末広町 1-1-4 電話 0294-33-2655)
- ◆講師 みやざわたかこ
宮澤孝子さん（日立市出身、薬膳料理家、食育インストラクター）
- ◆定員 50人 ※申し込み先着順、入場無料
- ◆申し込み 9月28日(木)午前9時30分から、電話または直接記念図書館へお申し込みください。
- ◆申し込み・問い合わせ先 日立市立記念図書館
電話 0294-24-7714 IP電話 050-5528-4946
住所 〒317-0073 日立市幸町 1-21-1

【薬膳料理家 宮澤孝子さん プロフィール】

1966年茨城県日立市の農家に生まれ、日立市在住。東日本大震災をきっかけに地元で料理教室を創業。2019年度には国内外にて延人数3,800名の方々に、日本の食の楽しさを伝える。2021年日立市内にて初の農場レストラン「アグリキッチンもぐもぐ」をオープン。2022年著書『母が紡ぐ和の薬膳』（パレード発行）が、グルマン世界料理本大賞自然食部門2位を受賞。日本女子大学卒。家政学士。薬膳料理家。食育インストラクター。株式会社ジオフーズ代表取締役。食育を通して100年後の子どもたちにも笑顔が輝きますように。



参加の際は、基本的な感染症対策にご協力をお願いいたします。また、熱のある方、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。

思い出の料理と綴る自分史『母が紡ぐ和の薬膳』
宮澤孝子 著（パレード発行）2021年刊

申込書	ふりがな 氏名	電話番号
	住所	